

石川方部商工会広域連携協議会

令和04年度 経営発達支援計画

事業実施評価委員会 報告書

■構成商工会

- 石川町商工会 ○玉川村商工会 ○浅川町商工会
- 平田村商工会 ○古殿町商工会

■開催

- 日時：令和5年2月9日（木）午後3時～

■出席者：評価委員長 鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）

評価委員

外部有識者 柴田 幸紀●（中小企業診断士）

地区内行政 南條 貴之（石川町役場）

上野 竜弥●（玉川村役場）

坂本 克幸（浅川町役場）

舟山 亮（平田村役場）

平松 洋昭（古殿町役場）

商工会 齋藤 一彦（石川町商工会）

野崎 一幸●（玉川村商工）

須藤 浩二（浅川町商工会）

石塚 保雄（平田村商工会）

渡辺 民一（古殿町商工会）

※欠席者は名前の後ろに●印

■評価方法：実施した内容を職員が報告書及び資料・別紙を使用しながら説明し、評価委員がA・B・C・Dの4段階で評価を行う

※計画については事前に説明してあるため記載及び説明を省略した。

《 1、地域経済動向調査》

① 事業者からヒアリングによる独自調査の実施

- ・ 報告者 宇内経営指導員（浅川）
担当者自己評価 B

○評価結果

- ・ 評価委員長 B
- ・ 外部有識者 A
- ・ 評価委員

評価	A	B	C	D
人数	2	5	1	0

② HP等での公表による情報提供

- ・ 報告者 宇内経営指導員（浅川）
担当者自己評価 B

○評価結果

- ・ 評価委員長 B
- ・ 外部有識者 A
- ・ 評価委員

評価	A	B	C	D
人数	1	5	2	0

【評価委員長コメント】

- ▼経済動向調査は、地域内の景況感を把握するために重要な参考情報となります。
コロナ禍に加え、エネルギー価格高騰、原材料費等の高騰の影響はほとんどすべての事業者に関わってきています。
- ▼本調査は、この厳しい現実を受け止める基礎材料として活用し、小規模事業者と危機感を強化しながら、支援策を適切に周知する必要があるかと思います。
- ▼調査数は70件となっており、地域の経済動向を把握するには十分な人数を基にした調査が実施できたことと思います。

《 2、経営状況の分析に関すること》

①事業計画策定へ向けた分析シートによる経営状況の分析の実施

- ・ 報告者 藤田経営指導員（広域）
担当者自己評価 C

○評価結果

- ・ 評価委員長 A
- ・ 外部有識者 A

- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	4	2	2	0

【評価委員長コメント】

- ▼個社ベースの経営シートの作成は、様々な支援策に活用でき、また、各々の経営状況の把握に大変有用なものだと思われます。
- ▼また、分析で終わることなく、事業計画策定までをセミナー形式で支援することは重要と思います。
- ▼さらには、数値実績において、全体目標を大きく上回ったことは、各商工会の支援努力の成果だと評価いたします。
今後、改善点にも見られた分析業務の重要性を事業者にも周知することで、事業者の経営力向上にも寄与するものと期待いたします。

≪ 3、事業計画策定支援に関すること ≫

① 経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域）
担当者自己評価 C

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 A
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	1	5	2	0

② -I 経営セミナー・事業承継セミナーを開催し、受講者の事業計画策定支援

- ・報告者 松原経営指導員（石川）
担当者自己評価 A

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 A
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	2	3	3	0

③ 創業者の発掘へ向けた創業セミナーの開催による事業計画策定

- ・報告者 藤田経営指導員（広域）

担当者自己評価 C

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 A
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	1	5	2	0

【評価委員長コメント】

▼事業計画策定支援は、補助金申請や金融支援を進める際に不可欠なものになります。本支援に関しては目標を大きく上回る結果となりました。補助金をはじめ、金融機関からの融資等にも活用できる本支援は事業者にとって直接的、即効的なものであり、地域経済に対する効果が大きいものと考えます。

▼今後、コロナ借換保証制度の活用助言等、求められる分野は益々広がることが予想されます。商工会としても、伴走型支援の本質を考えながら、今後の支援策について深く検討することが重要と思われま。

また、事業継続力強化計画、利益を上げる経営強化セミナー等、より具体的なテーマのセミナーを行うことで、地域事業者の課題に対応していると思われま。

≪ 4、事業計画の策定後の実施支援に関すること ≫

① -I 巡回指導による事業計画の進捗管理とフォローアップ

- ・報告者 矢吹経営指導員（古殿）
- 担当者自己評価 B

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 A
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	0	7	1	0

② 創業スクール受講者のフォローアップ

- ・報告者 藤田経営指導員
- 担当者自己評価 C

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 B

- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	5	2	1	0

【評価委員長コメント】

▼それぞれの目的に応じた事業計画策定の重要性はさることながら、その後の支援によって、行動をするか否かに大きく関わってきます。

当地区の商工会のフォローアップ巡回は数、質ともに素晴らしいレベルにあると思います。

▼また、事業承継や創業者といった特定課題に対する支援は、周りに相談できる人も少ないことや、専門性が問われることから、商工会に課せられた役割は更に大きくなることと思われまます。

《 5、需要動向調査に関すること 》

① 地区内加工食品の消費者ニーズ調査の実施

- ・報告者 藤田経営指導員
担当者自己評価 C

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 C
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	0	1	6	1

【評価委員長コメント】

▼HP、インスタグラム等の SNS について行った需要動向調査でしたが、調査を通して事業者に対する様々な気づきを提供することに繋がったと思われまます。

▼事業者自身の SNS 等の取組みをマーケティング視点で整理しながら、今後に向けた戦略立案に活かせるものと思われまます。

《 6、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 》

① 売れる商品づくりの支援

- ・報告者 古澤経営指導員（玉川）
担当者自己評価 B

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 B
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	0	4	3	1

②加工食品の展示会・商談会の出展支援

- ・報告者 藤田経営指導員（広域）
担当者自己評価 D

○評価結果

- ・評価委員長 D
- ・外部有識者 D
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	0	0	3	5

③IT活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援

- ・報告者 佐藤経営指導員（石川）
担当者自己評価 B

○評価結果

- ・評価委員長 B
- ・外部有識者 A
- ・評価委員

評価	A	B	C	D
人数	1	6	1	0

【評価委員長コメント】

▼専門家や経営指導員の方々のこれまでの知見を活かして多くの事業者には有用なアドバイスを提供されました。商品づくりを具現化するために、様々な事例、経験を活用して推進して頂くことや第三者を活用することで、商品の魅力を更に上げられることを期待いたします。

▼ITの重要性は益々大きなものとなっていますが、ビジネス観点で活用することが課題の事業者もいます。より、身近なITを売上に繋げられるような仕組みづくりを継続して支援することが望まれます。

▼なお、展示会・商談会の出展支援については未実施になりました。次年度は本事業が遂行される環境になることを期待します。

《7、経営指導員等の資質向上に関すること》

■職員スキルアップセミナーの開催

実施報告及び評価

- ・ 報告者 室賀経営指導員（平田）
担当者自己評価 C

○評価結果

- ・ 評価委員長 B
- ・ 外部有識者 A
- ・ 評価委員

評価	A	B	C	D
人数	0	4	4	0

【評価委員長コメント】

- ▼本取組は、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的として、様々な知識、手法の習得を行うものになりますが、より実践的な内容におけるセミナーを受講することで、実践的支援に繋がるものと思われまます。
- ▼本年度の取組みはインボイス制度についてでしたが、影響を受けやすい事業者を支援することが多い商工会では、支援方法が難しいケースも出てくるかと思いますが、立ち位置を定め情報共有を図りながら対応して頂くことを期待します。
- ▼今後も様々な事業を通して、より多くの会員へ本成果を還元し、事業者を支える存在として活躍されることを期待します。

《総括》

・ 評価委員長 コメント

【鈴木龍京中小企業診断士・税理士・事業承継士】

令和4年度の経営発達支援計画事業においては、地域経済動向調査といった地域市場環境から、セミナーや個別相談会の開催といった、事業者に対する様々な支援メニューが展開されました。

本事業の成果は事業者の発展、地域経済の活力強化に繋がっていくものであり、本事業により商工会内に蓄積されたノウハウを様々な場面で活かすことが高度化する支援ニーズへの対応の観点から求められます。

次年度は、コロナ禍の影響に加え、原材料費や水道光熱費といった諸経費の上昇に対する弾力的な対応も重要となります。また、様々な災害に備えるためにも事業継続力強化計画の策定支援の強化が求められます。

上記に対応するための外部と連携した支援体制づくり、経営指導員、経営支援員のスキル向上が今後の課題となると思われまます。

本年度事業の実績を活かした更なる商工会事業推進を期待いたします。

・外部有識者コメント

【柴田幸紀 中小企業診断士】

コロナ過以降、今年度に入り経済活動も少しずつ活発化し、徐々に日常生活が戻りつつある中で、昨今の原油高の高騰に伴い原材料や水道光熱費等の価格が上昇しているため、経営環境は一段と厳しい状況が続いています。加えてDX対応や働き方改革、インボイス制度など小規模事業者にとって対応が困難であることから、小規模事業者の受け皿である“商工会の存在意義”はさらに高まっていると感じています。

さて、今年度、第二期目の経営発達支援計画の評価ですが、経営状況分析の項目では、独自の分析シートを活用し昨年同様に「経営分析事業者数」の目標を大きく超えていることから、以降の支援事業者数が確保できるため次年度につきましても引き続き経営分析事業者数を十分に確保していただければと思っています。

事業計画策定支援につきましては、セミナーの開催等により目標を着実に達成されており、その中でも創業計画策定件数につきましては19名の支援が行われ、事業者数が減少している中で地域活性化や将来につなげられるような支援ができ大変素晴らしいと思います。

続いて事業計画策定後の「フォローアップ支援」については、コロナ禍でありながらも事業計画策定事業者へのフォローがしっかりと行われており、今年度の事業遂行における評価は高いと考えられます。

また小規模事業者が苦手としている「新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」では、2つの事業をしっかりと実施されており、その中でも「売れる商品づくりの支援」についてはコロナ過で現在もなお売上拡大に悩まれている事業者へ商品開発や販路拡大のための道筋を示すことができたといった直接的な支援ができていると思われまます。

さらに「IT活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援」においては、プロモーション活動を行っているものの効果や成果につなげていない事業者は少なくありませんが、実践的なSNSを活用したセミナーを開催され、加えてその後セミナー参加者へのフォローアップも実施されていることから手厚い支援ができており非常に評価ができます。

最後に今年度の総評としまして本計画の中核支援となる経営分析から事業計画策定後支援までの一連の支援に対してしっかりと実施されていることから今年度の事業遂行における評価は高いと考えられます。よって次年度も引き続き目標達成ができるよう連携も含めた支援体制の確認を行っていただきたいと思っています。

一方で次年度に向けての課題として、事業計画策定後の「フォローアップ支援」について、全体的な目標件数は達成されているものの、単会レベルで見ますと目標未達や目標は達成されていますが事業計画策定事業者数に対して4半期に1回の支援が行われていない商工会さんも見られますので、取組み方や進め方などを再度確認していただければと思っています。

商工会は限られた職員数で事業運営を行っていかねばなりません。そのため事業者に対する支援の充実化を図るには会を越えた職員間の情報共有や連携がポイントになるかと思われまます。今年度に入り経済活動も少しずつ活発化したとはいえ、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況ですので次年度につきましても今年度同様の支援を期待しています。